

長岡中央総合病院 倫理委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	胆道がん1次治療におけるデュルバルマブ併用療法はリアルワールドでも患者の予後を改善する
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2019年4月から2024年12月までに当院で1次治療GC療法あるいはGCD療法を導入した症例 小林由夏	
③概要	
2019年4月から2024年12月までに当院で1次治療胆道がん症例について使用レジメン、治療効果、治療成功期間、生存期間、有害事象について調査し今後の治療戦略に役立てる。免疫チェックポイント阻害薬併用療法の有用性を検討する。	
④申請番号	第695号
⑤研究の目的・意義	切除不能胆道がん
⑥研究期間	承認日-2026年3月
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに記載された内容の後方視的確認のみ
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、治療期間、前治療、合併症、一般的採血項目、生存期間、転機
⑨利用の範囲	2026年臨床腫瘍学会に限る
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	長岡中央総合病院 腫瘍内科 小林由夏 内線 8029